

## 八ヶ岳フォトフェスタ 2017

### 各事業の実施報告

#### ●5月7日実施 子どもアウトドアフォトワークショップ

八ヶ岳フォトフェスタ 2017・キックオフワークショップとして実施した。

ワークショップタイトル

子どもアウトドアフォトワークショップ

主催 八ヶ岳フォトフェスタ実行委員会

開催日 2017年5月7日(日)

対象 小学生(低学年は保護者同伴可) 参加者 11名

講師 松村誠(写真家) 五味愛美(自然観察指導)

清水稔三(グラフィックデザイナー)

会場 まきば公園

持ち物 デジタルカメラ(スマホ、コンパクトデジカメラで可)

参加費 500円(保険料含む)

写真を通して八ヶ岳を多くの方にもっともっと好きになっていただくための企画「八ヶ岳フォトフェスタ」。そのキックオフイベントとして2017年5月7日(日)に子供たちに写真撮影と額作りを体験してもらうイベントとを企画実施した。

こころに響いた「何か」をプロ写真家のアドバイスを受けつつ写真に撮り、会場周辺の屋外で拾い集めた何かを組み合わせて、デザイナーのアドバイスを受けて額縁に仕上げてみた。

清里高原の朝、自然の息吹を感じ、「自分の感じた清里の自然の素晴らしさ」を作品にすることで、形式やテクニックにとらわれず感じたままに撮る写真の楽しさ、自由な表現の素晴らしさを伝えた。子供たちは、それまで気づかなかった風景を見るようになり、写真を撮ることに興味をもつようになった。

昨年度から二度目の参加者も居た。

関連ホームページ <http://photo.yatsugatake.net/finished/index.html>

#### ●6月24日実施 大人のためのフォトワークショップ in 八ヶ岳倶楽部

八ヶ岳フォトフェスタ・ワークショップとして実施した。

ワークショップタイトル

## 大人のためのフォトワークショップin八ヶ岳倶楽部

主催	八ヶ岳フォトフェスタ実行委員会		
協賛	八ヶ岳倶楽部		
開催日	2017年6月24日(土)		
対象	高校生以上の写真が好きな人	参加者	10名
講師	松村誠(写真家)		
会場	清泉寮		
持ち物	デジタルカメラ(一眼レフを推奨)		
参加費	4000円(材料費、プリント代、保険料、お茶代含む)		

「光を感じる写真」をテーマに八ヶ岳倶楽部の敷地内をフィールドとして写真を撮影。写真の表現についてプロ写真家のレクチャーを受けつつ、各自の写真表現を考えながらの撮影となった。

八ヶ岳にある植物と林に差し込む光の捉え方など、少しハイレベルのワークショップとなった。

撮影後には写真家のアドバイスを受けながら各自一点をセレクトしつつ、交流の場を設けた。セレクトした写真は、そのままプリントするものと、プロの目で補正を加えてのプリントの二種類を後日作成し、八ヶ岳倶楽部に展示した。

展示終了後は作品を参加者に贈呈した。

関連ホームページ <http://photo.yatsugatake.net/finished/index.html>

## ●7月29日実施 夏休み子どもアウトドアフォトワークショップ

inオオムラサキセンター

八ヶ岳フォトフェスタ・ワークショップとして実施した。

ワークショップタイトル

夏休み子どもアウトドアフォトワークショップ

inオオムラサキセンター

主催	八ヶ岳フォトフェスタ実行委員会		
協賛	北杜市オオムラサキセンター		
開催日	2017年7月29日(土)		
対象	写真・カメラに興味のある小学生	参加者	10名
講師	松村誠(写真家) 五味愛美(自然観察指導) 清水稔三(グラフィックデザイナー)		

会場 北杜市オオムラサキセンター  
持ち物 デジタルカメラ（スマホ、コンパクトデジカメラでも可）  
参加費 500円（保険料含む）

5月7日に実施したフォトワークショップの夏休みバージョン。

今回は夏休みなので、午前中に写真撮影、午後に額縁づくりと、時間をかけてみた。先ず午前中に、オオムラサキセンター敷地内を写真家の指導で撮影しつつ、自然観察指導の講師のアドバイスを受けながら、園内の落ちている自然のものを拾い集める時間とした。子供たちは、それまで気づかなかった自然環境に興味を持つきっかけとなった。午後は、デザイナーの指導で、ダンボール製の額縁を制作した。その額縁に自分の撮影した写真（額縁製作中にプリント）を納め、拾い集めたものを飾り付けて完成。夏休みの自由研究にもなると喜ばれた。

関連ホームページ <http://photo.yatsugatake.net/finished/index.html>

## ●8月2日実施 8.2 みんなでフォトアップ

インターネット利用の簡単フォトコンテストとして実施した。

コンテストタイトル

### 8.2 みんなでフォトアップ

主催 八ヶ岳フォトフェスタ実行委員会

開催日 2017年8月2日(水)

対象 写真が撮れる人なら誰でも 参加費 無料

八ヶ岳が見える所ならどこからでも参加できる「やつ」にちなんだ8月2日限定の簡単フォトコン。遠くからでも八ヶ岳が写っていれば参加でき、デジカメでもスマホでも、撮った写真に「#82photoup」のハッシュタグを付け、自分のFacebook、Instagram、Twitterにアップするだけ。昨年と同じ方式で実施したが、今年は天候が悪く八ヶ岳が殆ど見えなかったため、応募数は50点（昨年の半数）となった。 沢山「いいね！」を集めた写真や、審査員のオススメ写真に賞品を出した。

関連ホームページ <http://photo.yatsugatake.net/finished/index.html>

●8月9日～20日実施 2016年度入選作品展 in 真澄

作品募集と広報を兼ね、2016年度の入選作品展を開催した。

展覧会タイトル

私の八ヶ岳フォトセッション2016年度入選作品展in真澄

主催 八ヶ岳フォトフェスタ実行委員会

協賛 宮坂酒造（真澄）

開催日 2017年8月9日～20日（必着）

会場 セラ真澄 松の間

2017年度の作品募集と広報を兼ね、2016年度の入選作品展を諏訪市のセラ真澄 松の間にて開催した。

夏休みの中心的な期間であり、多数の人に立ち寄っていただき、2017年度の作品募集についての有力な広報となった。

関連ホームページ <http://photo.yatsugatake.net/finished/index.html>

●8月10日～9月30日実施 私の八ヶ岳フォトセッション応募受付

八ヶ岳フォトフェスタ全体のメインフォトコンテストとして実施した。

コンテストタイトル

私の八ヶ岳フォトセッション

主催 八ヶ岳フォトフェスタ実行委員会

募集期間 2016年8月10日～9月30日（必着）

対象 写真が撮れる人なら誰でも 参加費 無料

応募部門 デジタルデータの部（ネット応募）

プリントの部（郵送による応募）

自分が住んでいる（いた）場所や、旅行で訪れた場所から見る八ヶ岳の姿は様々で、誰もが「ここが一番」と思うお気に入りの八ヶ岳を各々持っている。そんな「私の八ヶ岳」の写真に思いを込めたショートストーリー（100文字以内）を添えて応募していただいた。ストーリーも審査の対象とし、賞は順位付けでなく、協賛スポンサーからの賞に似合うものを選考。全ての入選作品は写真展に展示した。

両部門合計で160点の応募があった。

関連ホームページ <http://photo.yatsugatake.net/finished/index.html>

### ●10月3日、9日実施 八ヶ岳フォトセッション審査会

3日に、規定違反などの問題がある作品を判断するための実行委員会による予備審査を実施。9日には、協賛団体・企業からの出席をいただき、本審査を実施した。昨年より応募数は若干減少したが、力作ぞろいで作品のレベルは確実に上がっており、入選作品は昨年より増加した。

全130点の内、入選作品46点（作者38名）を決定した。

関連ホームページ

賞品とスポンサー <http://photo.yatsugatake.net/prize.html>

部門別入選者名 <http://photo.yatsugatake.net/winner.html>

### ●10月14～15日 八ヶ岳カンティーフェアに参加

ポール・ラッシュ祭 八ヶ岳カンティーフェアに、北杜市観光協会の一部スペースを借りて参加した。

DVD危機を設置し、昨年の入選作品によるバーチャル美術館を上映し、チラシ配布などPRに努めた。

### ●11月3日実施 表彰式・交流会

私の八ヶ岳フォトセッションの入選作品表彰式と交流会を実施した。

主催 八ヶ岳フォトフェスタ実行委員会

開催日 2017年11月3日（祝）

会場 八ヶ岳ロイヤルホテル

入選作品の写真展の初日に、入選作品の表彰式と交流会を行った。

入選作品の作者38名の内27名が出席され、実行委員長から賞状を、協賛スポンサーの手から賞品を受け取り、入選の喜びを語った。

交流会では、県内外の入選者と協賛スポンサーの方々や当委員会の写真家などが八ヶ岳と北杜市の良さを語り合いながら親睦を深めた。

### ●11月3日～13日実施 2017年入選写真展

私の八ヶ岳フォトセッションの入選作品写真展を開催した。

写真展タイトル

みんなの写真展 八ヶ岳フォト&ストーリー

主催 八ヶ岳フォトフェスタ実行委員会

開催期間 2017年11月3日～13日

会場 八ヶ岳ロイヤルホテル ロビー 観覧料 無料

展示点数 46点

「八ヶ岳の日」11月8日を中心にした11月3日～13日。八ヶ岳ロイヤルホテルのロビーで「私の八ヶ岳 フォトセッション」の入選作品を展示公開する写真展を開催した。入選作品46点をすべてを展示した。また「8.2 みんなでフォトアップ」応募写真で制作したムービーをロビー内のモニターで上映した。

関連ホームページ <http://photo.yatsugatake.net/finished/index.html>

### ●11月14日～2018年1月3日実施 写真展

私の八ヶ岳フォトセッションの入選作品選抜写真展を開催した。

写真展タイトル

八ヶ岳フォトフェスタ写真展

主催 八ヶ岳フォトフェスタ実行委員会

協賛 八ヶ岳倶楽部

開催期間 2017年11月14日～2018年1月3日

会場 八ヶ岳倶楽部 店内 観覧料 無料

展示点数 46点

八ヶ岳倶楽部から会場提供の申し出をいただき「私の八ヶ岳 フォトセッション」の入選作品から半数の23点づつを、前記・後期の2会に分け、店内にて写真展を開催した。

## 2017年度の振り返り

1. 子どもたちに、写真の楽しさを伝え、興味をもつ機会を提供できた。
2. 昨年に比較して、写真を日常的に撮影している子どもが見られるようになった。
3. 昨年度に希望があった「大人向け」のワークショップを実施し、好評であった。
4. 親子ともに、八ヶ岳の景観と北杜市の環境の良さに、改めて気づく場を提供することが出来た。
5. ワークショップによっては、季節的な問題もあってか、思うような参加人員を得られなかった。
6. 写真コンテストに関しては、必ずストーリー（思いの一文）を添えるルールとしたことで、写真上級者に偏らない広範な応募を得られた。
7. プリント応募に加え、ネット応募という気軽なシステムの導入により、今までは尻込みしていた人にも写真コンテスト参加の機会を提供することで、予想以上の多数の応募を得られた。
8. 昨年度に比べて応募総数は減少したが、写真のレベルはアップしており、このコンテストへの応募を楽しみにしている人が居た。
9. 賞品については、昨年度より更に多くの企業の協賛をいただき、多数の賞品を用意できたため、受賞者数も増やすことが出来た。
10. 子ども（5才）が撮った作品が入選した。（大人と一緒に選考会で）
11. 現金による協賛の不足により、資金的に節約運営とせざるを得なかった。（予算 56.6 万円を約 51.1 万円に）
12. 資金不足から、今年度でのフォトライブラリーテスト版の試作はできなかった。
13. 無料又は廉価での会場提供など、協力いただいたお陰で、ワークショップも展覧会も良い環境で開催でき、参加者にも好評であった。
14. 入選作品 46 点の使用権が実行委員会に移譲されたことで、今後のフォトライブラリー立ち上げの基礎とすることが出来た。

## 2018年度に向けて

1. 子どもや親子を対象としたワークショップ、ストーリー付きの写真の募集、ネット利用の気軽な応募方法の採用など、基本的に継続する。
2. ワークショップについては、ニーズの的確な把握に努め、参加者増加を目指す。
3. 協賛企業の獲得に力を入れる。（特に 2016～2017 両年度ともに不足した現金協賛）

4. 2016～2017年度の実績を目に見える形でアピールできるようにする。
5. フォトライブラリーのテスト的立ち上げをする。
6. 早期に全体スケジュールを立て、周知期間を充分取れるようにする。
7. フォトセッションの作品募集については、従来の「八ヶ岳が必ず映っている」ものと、八ヶ岳は映ってなくても「八ヶ岳の自然の美しさや楽しさ」を表した写真の部門を新規に作り募集する。(フォトライブラリーの需要として)
8. 撮影ポイントマップの制作を企画中。







語呂合わせで八ヶ岳の「やつ」となる8月2日に、八ヶ岳を撮影した写真のコンテスト「8・2 みんなでフォトアップ」が開かれる。3日の午後10時まで写真共有アプリなどで作品を募り、入賞者には賞品を贈る。

## 8月2日の八ヶ岳 みんなで写真投稿 SNS通しコンテスト



八ヶ岳と田園風景を撮影した昨年の応募作品(八ヶ岳フォトフェスタ実行委員会提供)

北杜市在住のカメラマンやデザイナーらでつくる実行委が企画する写真イベント「八ヶ岳フォトフェスタ」は、9月上旬にインターネット上で5人程度の入賞者を発表する予定。メンバーが応募作品をスライドショーにまとめた映像も制作するといふ。

実行委が選考し、9月上旬にインターネット上で5人程度の入賞者を発表する予定。メンバーが応募作品をスライドショーにまとめた映像も制作するといふ。

「い」と話している。  
問い合わせは専用ウェブサイト(<http://photo.yatsugatake.net>)のフォームからどうぞ。

## フォトフェスタ表彰式

山梨県から長野県にまたがる八ヶ岳を題材にした「私の八ヶ岳フォトセッション」の表彰式が、11月3日、大泉町の八ヶ岳ロイヤルホテルで開かれ、受賞者や関係者の約60人が参加した。(写真)



このイベントは、写真を通して八ヶ岳の魅力を広く発信する「第2回八ヶ岳フォトフェスタ」の一環で、地元有志でつくる同実行委員会(林史記代表)の主催。8月から9月まで、八ヶ岳の写真とその写真にまつわる物語を合わせて募集し、県内外から120作品が集まった。地元の宿泊施設や観光施設、行政など、協賛した約25団体がそれぞれ賞を設け、延べ50作品が選ばれた。

四季折々の八ヶ岳や日常のなかの八ヶ岳を写した作品が並び、林代表は、「驚くほどレベルが高く、写真から八ヶ岳への愛情が伝わってきた」と語った。入選作品を展示する「みんなの写真展」八ヶ岳フォト&ストーリーは、来年1月3日まで、大泉町の八ヶ岳倶楽部で開催しており、白州町の金精軒や高根町の八ヶ岳自然ふれあいセンターでも開催を計画している。詳細は、<http://photo.yatsugatake.net>

山梨日日新聞 (8月1日)

八ヶ岳ジャーナル (11月16日)



### 八ヶ岳フォトフェスタ 実行委員会の代表 林 史記さん



はやし・ふみのりさん 都  
内の大手百貨店に22年間勤務  
し、2015年に北杜市高根町清  
里に移住。市内のスーパーに  
勤務し、妻と2人暮らし。48  
歳。

## 「八ヶ岳好き」結び魅力発信

「それぞれが『好きな八ヶ岳』の姿を見てみたい」。写真イベント「八ヶ岳フォトフェスタ」を思い付いたのはそんな好奇心からだった。豊かな自然に引かれて移住した北杜市の清里高原

で、友人のカメラマンやデザイナーらに声を掛けて実行委を結成。昨年からはフェスタを開き、写真を通じて「八ヶ岳好き」をつなげ、魅力を発信している。メインは、八ヶ岳を構図に入

れた写真と山への思いをつづった文章をセットで募集するコンテスト。実行委が受賞作品を選び、表彰式や展示会を行う。昨年は、プロポーズを受けた思い出の場所としての八ヶ岳など約160の応募があった。

約20年間、ホームページなどで、八ヶ岳周辺で気に入った店や観光施設を紹介し続けるほどのめり込んだ。踏ん切りが付かない期間が長かったが、移住を決心して2015年に退職し、妻と移り住んだ。

語呂合わせで「やつ」となる8月2日に撮った八ヶ岳の写真をインターネット上で募るコンテストや、子ども向けの写真ワークショップも企画している。自身が初めて八ヶ岳を訪れたのは5歳の時。祖父の別荘が清里にあり、夏休みなどに訪れてきた。大学時代は友人とドライブで、都内の百貨店に勤務して

いたときも、妻とよく遊びに来た。「街で働いた疲れも、八ヶ岳に来ると癒やされ、ほっとした」と振り返る。

「八ヶ岳は見る場所によって全く形が違う。地元住民と観光客でも見え方が違ったり、それぞれの思い入れを持っていたりする。多彩な八ヶ岳が見られる」とうれしそうにイベントを説明する。「参加者が魅力を再認識し、自然を大事にする気持ちも出てくる」と思いを語る。

〈一ノ瀬伸〉

5月7日 子どもフォトワークショップ



6月24日 大人のためのフォトワークショップ



7月29日 夏休み子どもフォトワークショップ



8月8~20日 2016年度入選作品展 in 真澄



11月3日 私の八ヶ岳フォトセッション 表彰式・交流会・作品展





2017 私の八ヶ岳フォトセッション 入選作品 2



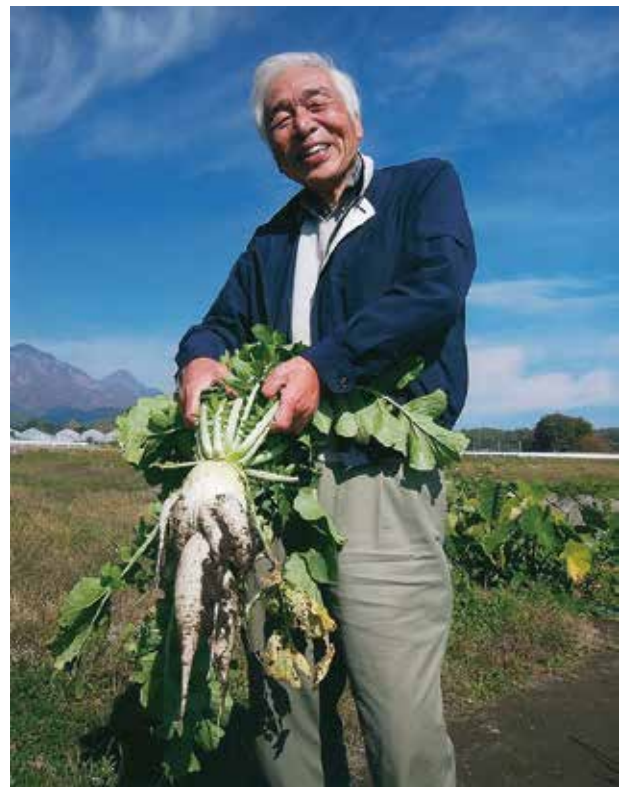
2017 私の八ヶ岳フォトセッション 入選作品 1



2017 私の八ヶ岳フォトセッション 入選作品 3



2017 私の八ヶ岳フォトセッション 入選作品 4



2017 私の八ヶ岳フォトセッション 入選作品 5

